

滋賀県立

聴覚障害者センター

だより



—118号—

発行日／2025年7月10日

発行所／草津市大路2丁目11-33

TEL 077-561-6111

FAX 077-565-6101

HP <https://shigajou.or.jp>

大津市高齢聴覚障害者デイサービス事業 (おおつげんきサロン)が始まりました

今年度から大津市の委託事業として、大津市高齢聴覚障害者デイサービス事業(おおつげんきサロン)が始まりました。大津市立障害者福祉センターを拠点として、高齢聴覚障害者を対象に週1回実施し、歩行が困難な方には送迎支援を行います。デイサービスのメニューは、サロン、創作活動、余暇活動、レクリエーション、健康相談、生活相談等を予定しています。デイサービスで実績を重ねて、徐々にニーズを見極めながら拡充し、日中系活動事業が軌道に乗れば、訪問系事業、居住系事業(グ

ループホーム等)へと事業展開を検討していきます。



開所セレモニーの様子 石野理事長挨拶

大津市障害福祉課
栗本課長挨拶



創作活動・桜の折紙
ができあがった喜び



4月4日(金)には、来賓の方々(障害福祉課長栗本様、大津市のおの浜障害者福祉協会理事長白杉様・代理塚野様、自立支援協議会事務局松岡様)をお迎えし、開所セレモニーを行いました。石野理事長の事業経過報告を兼ねた挨拶で始まり、来賓の方々のお言葉、デイサービス支援員の安岡さんの行事説明、利用者代表として大津市ろうあ福祉協会の北川さんからデイサービスに対する抱負を語っていただきました。この事業を契機として高齢聴覚障害者が安心して利用できる福祉サービスの実現を目指して取り組んでいきます。

要約筆記者養成講座

2025年度開講

2025年度要約筆記者養成講座パソコン編を開講しました。受講者は12名です。10月に滋賀県で開催される国スポ・障スポでのボランティア参加で要約筆記を知り、受講を決めた人も数人います。開講にあたり、比較的パソコン要約筆記のニーズが高くはありますが、手書き要約筆記者も減少傾向にあるので「両手法」を担える要約筆記者が必要と検討を重ねました。

今年度はパソコンから始め、来年は手書きへと2年かけて「パソコン・手書き要約筆記者」をめざす講座を開始します。



滋賀県登録

意思疎通支援者研修会を

開催しました

当センターでは意思疎通支援者の資質・技術向上や活動者を増やすため、「健康」「知識」「技術」「倫理」を研修の柱とし、年に数回研修会を開催しています。

例年4月に「健康」をテーマに第1回目の研修会を開催し、滋賀医科大学社会医学講座衛生学部門特任教授の北原照代氏をお迎えして「手話通訳者・要約筆記者がいきいきと活動するために」と題してご講演いただきました。

今年度は4月29日（祝）キラリエ草津にて開催し、意思疎通支援者87名が参加しました。医師として頸腕検診や日頃の診察でもお世話になっている北原氏から、頸腕検診結果と意思疎通支援者の現状、頸腕障害や腰痛の発生要因、メンタルヘルス、健康を守る取組みについて等のお話をうかがいました。作業のやり方の見直しや環境を整えること、健康状態を把握して調整することや学習会への参加など、日頃からの取組みが大切であることを改めて学ぶこと

ができました。

聴覚障害者の社会参加と自立を促進する意思疎通支援事業の担い手である意思疎通支援者のみなさんが、研修での学びを活かしながら今年も健康に活動されることを願います。



手話通訳者養成講座の実施

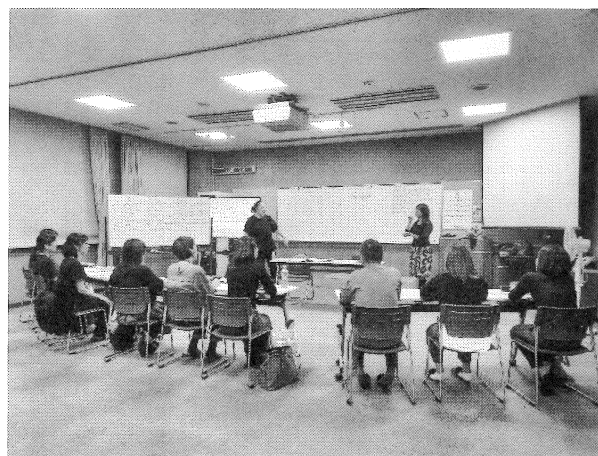
当センターでは、滋賀県から委託を受け、聴覚障害者の自立や社会参加を支援するため、手話通訳者を養成しています。手話通訳者養成講座では、厚生労働省の手話通訳者養成カリキュラムに基づき、障害者福祉の概要や手話通訳の役割・責務等について理解と認識を深めるとともに、手話通訳に必要な手話語彙、手話通訳能力及び手話通訳技術の基本を習得します。

養成講座は手話通訳ⅠとⅡⅢを2年かけて開催します。

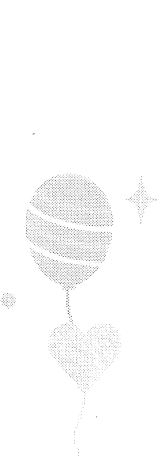
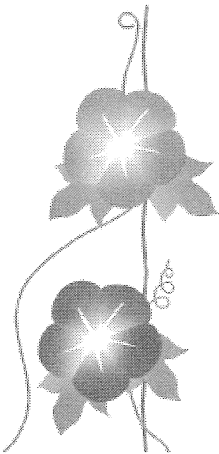
手話通訳Ⅰは手話奉仕員養成講座を修了した方が、手話通訳者を目指すため初めに学ぶ講座です。草津（夜）と彦根（夜）の2コースで、7月からの開講です。対象となる受講生の一定の手話技術の確保と、手話通訳者を目指す者に求められる基本的な姿勢を審査するため、毎年選考を実施しています。今年度は定員を超える多数の申込があり、5月31日に選考審査を行いました。

手話通訳Ⅱは、手話通訳Ⅰで養成目標の基準に達し、修了した方が受講できます。草津（昼）と東

近江（夜）の2コースで、4月より開催しています。12月の手話通訳者全国統一試験の合格に向け、受講生は熱心に学んでいます。



手話通訳制度が広がり、様々な場面で手話通訳者を配置することが増えました。それに伴い、手話通訳者が不足しています。手話通訳者を増やすため、講師の方々のご協力のもと、今年度も養成を進めてまいります。

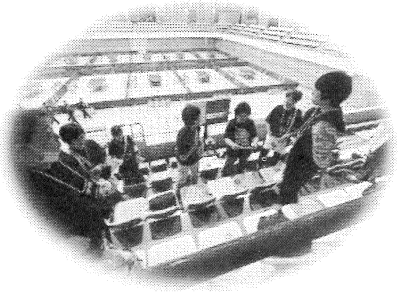


湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 2025

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ2025に向けて、手話・要約筆記ボランティア延べ581人が、リハーサル大会で活動しました。(5月24日・25日)

5月24日(土)		活動人数			
団体	バスケットボール(知)・車いすバスケットボール(身)	44			卓球 野洲市総合体育館 (野洲市)
	バレー(精)	15			
	サッカー(知)	10			
5月25日(日)		活動人数	5月25日(日)	活動人数	
団体	バスケットボール(知)・車いすバスケットボール(身)	43	個人	陸上競技(身・知)	77
	ソフトボール(知)	21		水泳(身・知)	74
	グランドソフトボール(身)	18		アーチェリー(身)	23
	バレー(身)	64		卓球(身・知・精)	50
	バレー(知)	23		フライングディスク(身・知)	46
	サッカー(知)	15		ボッチャ(身)	16
	フットソフトボール(知)	19		ボウリング(知)	23

知的障害バレーボール 湖南市体育館 (湖南市)



陸上 HATO スタジアム (彦根市)



バスケットボール ダイハツアリーナ (大津市)



障スポ大会 10月25日～27日

情報保障席では、手話と文字で試合の様子を案内します。

誘い合わせて、応援にきてくださいね。

【予告】事業開催のお知らせ

聴覚障害児及び保護者サポート事業

聴覚障害児やその家族等を対象にした学習、余暇支援や交流を目的とした企画を開催します。

昨年度好評！デフキッズのスポーツ体験 「デフバレーボールをしよう！」

日時：8月30日（土）10時～12時
会場：滋賀県立障害者福祉センター
（草津市笠山八丁目5-130）
対象：きこえないお子さん
きこえにくいお子さん

参加費無料

事前申込制

日曜教室事業

滋賀県内で暮らす聴覚障害者を対象に、日常生活に必要な知識や情報、生活技術などについて学び、交流できる場を提供します。

「いきいき情報教室」 今後の予定

- 9月18日（木）：彦根市
- 11月13日（木）：草津市
- 1月15日（木）：湖南市
- 3月12日（木）：彦根市

対象：滋賀県内在住の聴覚障害者

参加費無料

事前申込制

★どちらの事業も、詳しい内容が決まり次第、センターのホームページなどでお知らせします。
インターネットで検索 「滋賀県立聴覚障害者センター」
→「お知らせ」ページ



左のQRコードからも
ホームページに
アクセスできます

《電話リレーサービス・ヨメテル登録相談窓口》

みなさまは「電話リレーサービス」「ヨメテル」をご存知でしょうか。

きこえない、きこえにくい方が利用できる公共インフラです。このサービスを使ってご自身で電話をかけて、お店や病院などの予約をすることができます。

当センターでは、登録サポートや登録後の使い方の相談ができる窓口を開設しています。
お気軽にご相談、お問い合わせください。



相談日：毎週水曜日・金曜日 10時～15時



※担当者不在の場合もありますので、相談したい日を事前にお問い合わせください。

タツノオトシゴ

夏が近づいてくると、「汝、星の如く」を読み返したくなります。この本と出逢ったきっかけは小説すばるでした。この「汝、星の如く」というタイトルに惹かれ、読みました。内容は瀬戸内海の島を舞台に17歳から32歳までの男女の愛と成長を書いています。読了後は、瀬戸内海に行きたいな～という気持ちにさせてくれる本です。ぜひ、読んでみてください。

(M.H)